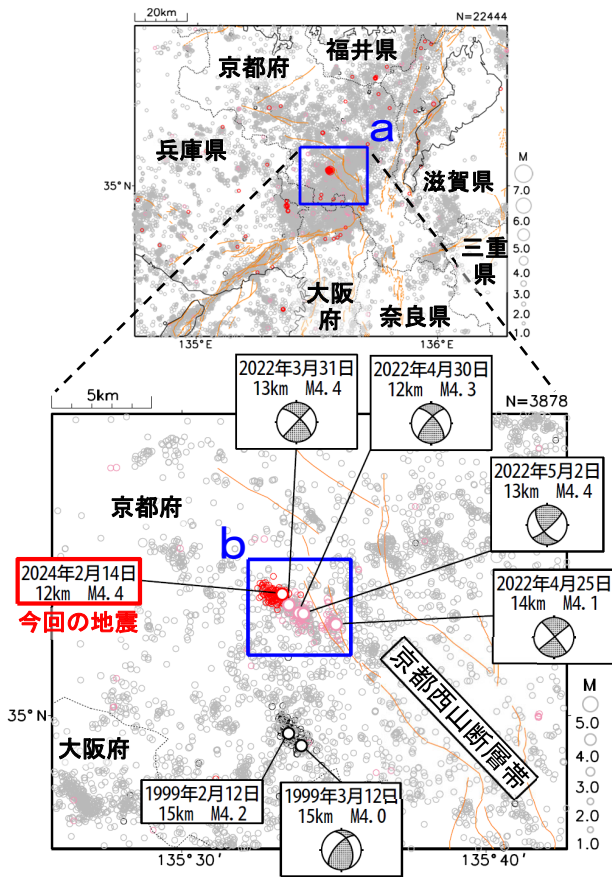


2月14日 京都府南部の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2024年2月29日、
深さ0～20km、 $M \geq 1.0$)
1999年2月・3月の地震を黒色、
2022年3月31日～2022年6月末の地震を桃色、
2024年2月の地震を赤色、
それ以外の期間の地震を灰色で表示

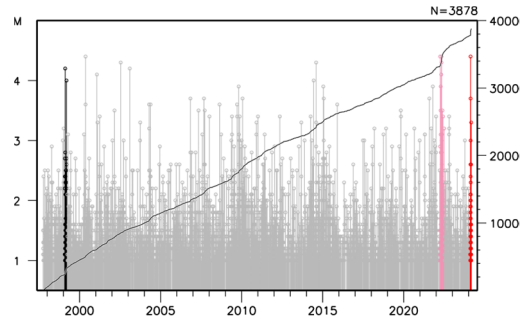


2024年2月14日15時29分に京都府南部の深さ12kmでM4.4の地震（最大震度4）が発生した。この地震は地殻内で発生した。この地震の発生後、2月末までに震源近傍で震度1以上を観測する地震が4回発生（震度3：1回、震度1：3回）するなど地震活動がやや活発となった。

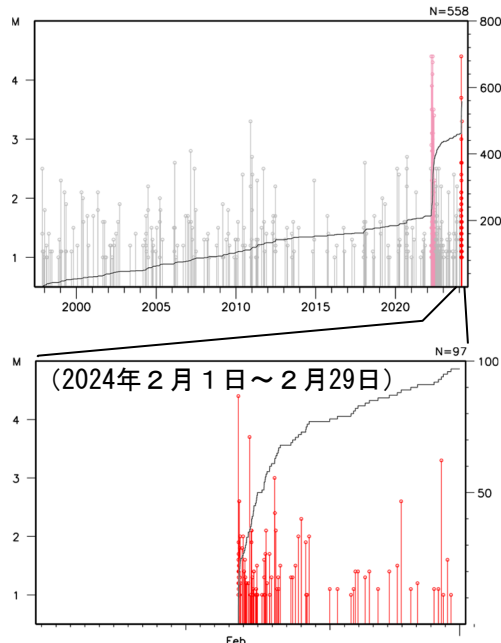
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域a）では、定常的に地震活動がみられ、M4程度の地震が時々発生している。今回の地震の震源近傍（領域b）に注目すると、今回の地震の震源からその南東延長部では、2022年3月末から6月にかけて地震活動の局所的な活発化がみられた。この活動中には、今回の地震と同規模のM4程度の地震が4回発生するなどし、震度1以上を観測する地震が計16回発生した。また、領域bの南側でも、1999年2月から3月にかけて局所的にM4程度の地震が複数回発生する活動があった。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M5.0以上の地震も発生しており、2018年6月18日には大阪府北部でM6.1の地震が発生し、死者6人、負傷者462人などの被害が生じた（被害は総務省消防庁による）。

領域a内のM-T図及び回数積算図

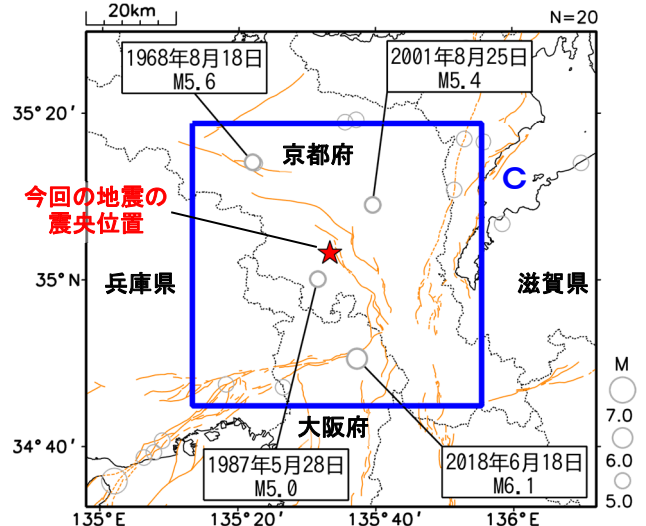


領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図

(1919年1月～2024年2月29日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)



震央分布図中の橙色の実線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。